

流域1万人だより 121～130

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

121. 大詫間公民館(川副町大詫間地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.14)

122. にまつばら館(日田市大山町南部地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.15)

123. 下田公民館(久留米市城島町下田地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.16)

124. 江島公民館(久留米市城島町青木地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.17)

125. 石塚公民館(諸富町石塚地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.19)

126. 諸富津公民館(諸富町諸富南地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.20)

127. 中央公民館(みやき町北茂安地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.20)

128. 枋原公民館(日田市中津江村)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.26)

129. 川原生活改善センター(日田市上津江町)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.28)

130. セツ家公民館(柳川市昭代第1地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.28)

流域1万人だより VOL. 121

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月14日(木)に大詫間公民館(川副町大詫間地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、12名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	川副町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	7名
県	2名
市町村	3名
水機構	3名
住 民	12名

主な意見

【治水について】

☆一番怖いのは高潮である。台風による高潮が一番危ない。
 ☆大詫間は、逃げ場がないところなので、一にも二にも堤防の補強が大事。
 ☆樋管では泳がっていたが、今は全部ガタが詰まっている。大雨が降ったときに排水が問題になる。
 ☆昔、排水樋管にはプール3～4倍ぐらいの潮遊びがあり、潮の干満で洗われて、いつも排水可能な状態だった。ガタの堆積をどうするのか。

【利用について】

☆人工的に州を作ってもいいから、子供の遊べる環境整備も必要。
 ☆散歩ができる日陰があるような形もいいのではないかと思う。柳川には川に沿って木がある。あの辺へ行くと心が和む。
 ☆干拓地の日の出はすばらしい。展望台を作してほしい。
 ☆灯台あたりを整備してもらえば、春先に大詫間一周ウォークラリーができる。

【環境について】

☆これ以上水質が悪くならないような水質対策の方法が問題だ。
 ☆水質汚濁対策連絡協議会で流域市町村が集まって協議している。川は地域の共有財産という意識を高めることで全体がよくなるのではないかな。単体の行政ではできない。国と県も協力すべきである。
 ☆今は魚が本当にいない。大堰を造って水の流れが悪くなったからではないか。昔は砂地があって、魚が沢山いた。
 ☆川副大橋のすぐ下あたりに州ができて、そこでシジミをとった。今は危なくて汚い。
 ☆今、徐々にカニが回復している。

【管理について】

☆ゴミは汚いところに捨てられるので、道路を通すようにして、花でも植えてもらおうようにしたらどうか。
 ☆以前は第二線堤も通れたが、ゴミがどんどん捨てられて管理ができないのでふさがれて、通れなくなった。かえって人が通った方がゴミを捨てないのではないかな。

【利水について】

☆福岡に水をどんどん持っていくので水が流れ込んでこない。福岡は百万都市だからいっぱい持っていくようなイメージがある。
 ☆アオ取水の苦勞があったので、大詫間は何も要らないから、水だけは早く持ってきてほしいというのが唯一の願いだった。事業が完成して水の苦勞は減った。

【その他】

☆西の堤防と東の堤防の内側は雑草がいっぱい生えてきれいである。
 ☆建設省のおかげで、たった2,000人の人口に対して、毎年河川堤防事業をしていただいている。ありがたい。

懇談会の写真



流域1万人だより VOL. 122

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月15日(金)にまつばら館(日田市大山町南部地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市大山町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	9名
県	2名
市町村	0名
水機構	2名
住民	11名

主な意見

【治水について】

☆松原・下笠ダムの効果はあった。
 ☆採石場の対岸の護岸整備をしてほしい。
 ☆松原ダムが壊れることはないのか？改築などの計画があるのかなどの勉強会をしていきたい。
 ☆S57災は、発電所から水が溢れるまでの大雨だったと聞いた。いろいろな情報を聞かせてもらいたい

【利用について】

☆遊歩道を設置してほしい。
 ☆松原～下笠間道路に歩道やガードレール(ワイヤーレール)の整備をしてほしい。
 ☆きれいな川には砂がある。砂があれば、水に親しむことができる。
 ☆釣り人が増えたのはいいが、駐車場がない。トイレがない。
 ☆ダム下流では昔は泳いでいた。

【環境について】

☆松原・下笠ダムの環境整備に力を入れてほしい。大山ダムに比べて遅れている。
 ☆湖内にブラックバスなどの外来種が多い。洪水時に流れて生態系に影響が心配。法整備をしっかりしてほしい。
 ☆93k付近は、昔ホテルがいた。カワニナの放流をしており、ホテルが増えてきた。ホテルのトンネルのようになる。
 ☆秋の紅葉がきれいだが、松原はダムの水が汚いので、せっかく人も集まるのできれいにしたい。大分県宇目町の北川ダムでは、アオコ対策で効果はあった。
 ☆よどみがないと砂が流れてしまう。よどみを作るといい。
 ☆昔は、清流があり、水もきれいで魚も多く釣れた。
 ☆杖立のほうから、水が汚いと感じる。
 ☆渇水のため、今年はアユが少ない。コケの成長がなく、それにともないアユも小さい。
 ☆ダムに流れてくる水も汚い。ダムより上流が水質が悪い。
 ☆ここ1～2年で魚の種類が変わり、いるところがいなくなった。
 ☆松原ダム直下右岸に30年前の発電導水管があり、途中で埋没して逆流し濁水が溜まっている。
 ☆筑後川は砂が少ない。

【その他】

☆昔はあまりなかったが、河川内に建設重機が入っている事が多い。
 ☆このような会合を増やしてほしい。ダムを受け入れる気持ちになった。情報提供(内容、量)を工夫してほしい。
 ☆ダムができるのはいいやだが、利便性を考えた結果やはり必要。ダムとの共生を考えていきたい。
 ☆小雨でも採石場から土砂が流出するので、行政指導をしてほしい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 1 2 3

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月16日(土)に下田公民館(久留米市城島町下田地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、28名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市城島町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	6名
県	2名
市町村	3名
水機構	2名
住民	28名

主な意見

【治水について】

- ☆S28年程度の雨が降った場合、低いところは大丈夫か。
- ☆この前から地震があったが、堤防は点検されているのか。
- ☆H17年度の下田大橋下の工事をすると、江見手水門まで一連で整備してもらいたい。
- ☆漁協の棧橋の上手は護岸整備していないため、今度の水害で切れ込んできている。ここは至急対策しないと危ない。

【利用について】

- ☆昔は泳いで川を渡ったり、シジミとりに行った。
- ☆久留米市側はサイクリングロードが整備されているが、下の方の整備はどうか。
- ☆この周辺の子供には「川に入るな」と言っているが、川の事故が起こった場合はどうするのか。
- ☆今は砂地が全然ない。砂防ダムから砂を持ってくるって、シジミの養殖をしてもらいたい。

【環境について】

- ☆子供のころは水がきれい、飲み水だったが、最近はいつも泥水だ。
- ☆水質検査をずっとしているが、筑後川のガタには生き物が棲まないと聞いた。
- ☆災害に対する対策はどんどんやっているが、昔のきれいな水に戻す対策は考えていないのか。
- ☆今、合併浄化槽でなるべく家庭排水を流さないようにしているから、少しずつはよくなってきている。
- ☆川は個人個人の努力がないときれいにならないだろう。

【管理について】

- ☆城島の方は先進的な取り組みをされている。六五郎橋付近はゴミ捨て場になっていた。
- ☆年に1回ノーポイ運動で堤防沿いを清掃しているが、ガタや護岸の上に素人では入れないところに沢山ゴミが集まる。
- ☆河川敷の大きなヤナギを伐採してほしい。
- ☆堤防の路肩の草を刈ってもらいたい。

【利水について】

- ☆水量が減った。

【その他】

- ☆六五郎橋の上流左岸、川を埋めているが、何のためにしているのか。堤防の幅員を広くしてもらいたい。
- 堤防が狭くて危ない。対岸の右岸の方は広がっていて、ああいふうにしてほしい。
- ☆豆津橋の久留米側の橋の下にはプレハブで家を建ててあるが、どうなっているのか。
- ☆江口排水機場近くの寒水川の工事を早くしてほしい。工事のために事故が多くなっている(国道204号沿い)。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 124

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月17日(日)に江島公民館(久留米市城島町青木地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、21名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市城島町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	6名
県	1名
市町村	4名
水機構	2名
住民	21名

主な意見

【治水について】

☆将来、河川の上流を改修したら、水は必ず低いところに行く。今の堤防は28年の水害時より1～2m高くなっているが、上流の改修工事の状況とあわせたら、アシが阻害して氾濫する可能性がある。堤防を嵩上げする計画はあるのか。
 ☆六五郎橋から江島の堤防に直接流れ込むので下が恐らくえぐられているはずである。
 ☆川が曲がり、ガタが溜まっているところがあり、危険であるから対応できないか。
 ☆六五郎橋下流 1.5km付近、右岸は河床洗掘されている。左岸はすごくガタが溜まっている。

【利用について】

☆上流側の浮島地区の堤防道路が非常に狭い。下の佐賀県側の方は整備が進んでいるが、福岡県側は遅れている。
 ☆浮島地区の中学生は通学道路がなく堤防道路を行くので、河川敷に小段をつくって通学路にしてほしい。
 ☆堤防の外に電灯をつけられるのか。
 ☆川の駅構想はどうなっているのか。
 ☆エツ漁をしているが、流量がなくて困っているので対策をお願いしたい。

【環境について】

☆ここはガタばかりである。
 ☆砂利採取を規制して砂を戻そうという動きも出ている。
 ☆坂口床固めにはエツがいっぱいいる。
 ☆中流で一度使った水が久留米に来るから汚い。
 ☆夜明ダムや松原ダムは砂がたまっていると思うが、そのままなのか。

【管理について】

☆青木島のアシは整備してほしい。ゴミがたまっている。
 ☆アシが伸びているとゴミを捨てていく。
 ☆福岡水道基金をアシ等の処理に使うことはできないのか。
 ☆ヨシによって流下阻害になる。

【利水について】

☆川でエツをとっているが、昼は水を流して夜は流していない。水を調節してもらいたい。夏場は水量が少なく、赤水。魚が全然いなくなった。
 ☆福岡の上水道に大分とられているのではないのか。その水の地元への金銭的な還元はされているのか。

【その他】

☆県南が道路の整備が遅れている。筑後川の堤防道路を大きくしてバイパスがわりに使おうという意見が多い。
 ☆今の時代に、国・県・市といった縦割りに固執するのはおかしい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 125

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月19日(火)に石塚公民館(諸富町石塚地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、24名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 諸富町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	6名
県	2名
市町村	2名
水機構	1名
住民	24名

主な意見

【治水について】

☆昔は台風のために高潮の危険にさらされた。今は立派になった。
☆地元にも水防団があって監視をしている。
☆我々が見て回るときの監視の仕方、注意点や堤防決壊の前兆などについて、また、堤防の高さを教えてほしい。

【利用について】

☆昔は川はプールがわりだった。
☆ヨシの中でエビやウナギを釣った。
☆昔は川砂をとって生計を立てていた人もいた。
☆今は筑後川の下の方で子供が遊ぶことはない。昔は鉄橋の下で遊んでいた。シジミ貝が小さくなった。
☆諸富橋の入り口のところは水がないので、水門の下の河川敷と石塚方面への乗用車だけの一方通行を何かすれば、渋滞が緩和するのではないかな。
☆諸富港に飛び込んだ人を救助するために、ボックスをつくって縄などを準備してほしい。
☆親が子供に、「危ないから川に行くな」と言うばかりでなく、こういう川になじめば将来的にはいい。
☆干満差があるので引く時には下流に流れ着き、満ちる時には上流に流れ着いていた。この地区には泳ぎ名人が多い。
☆昔は遠浅があった。今は危なくて行けない。

【環境について】

☆昔は鉄橋のあたりに砂がたまっていた。ゲートに砂がたまるのだろう。
☆生産土砂が減っている。高度成長期に砂利採取をされたことも砂がなくなった原因の一つである。
☆護岸をヨシに変えたらいい。
☆昔は昇開橋の下流の真ん中に砂浜ができていた。

【管理について】

☆ゴミがすごい。ゴミを車で持ってきてヨシの中にポーンと捨てている。
☆ヨシが生えてきたときには伐採するのか。エツはヨシに産卵する。ヨシは浄化作用があるとされている。

【利水について】

☆(大堰は)福岡市、久留米市、県南地域の上水道の水源にもなっている。アオ取水のときよりも安定的に農業用水を取水できるようになった。

懇談会の写真



流域1万人だより VOL. 126

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月20日(水)に諸富津公民館(諸富町諸富南地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	諸富町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	6名
県	2名
市町村	1名
水機構	2名
住民	18名

主な意見

【治水について】

- ☆ 去年の台風17、19号の時、堤防ぎりぎりまで水が来て危険だった。
- ☆ 川副は水門を開けているが、諸富は閉めていて水が流れない。
- ☆ 諸富には荒籠が3つあるが、壊れかけている。荒籠が水量を調節し諸富津を守っている。維持管理をしてほしい。

【利用について】

- ☆ 自転車道路(サイクリングロード)が、できるという話があったが、それはもうなくなったのか？
- ☆ 諸富津の堤防道路が低い。
- ☆ 諸富橋下流の左岸で昔は海水浴ができた。
- ☆ 子供たちが柵を越えて危険。役所の対応は遅い。
- ☆ アンケートを見ると、いろいろ川に親しむような事が書いてあるが、子供たちが川で遊べるような状況にしてほしい。
- ☆ 堤防が高くなると、いろいろと弊害がある。

【環境について】

- ☆ 昔は大きなコイ・フナが獲れていたが、今は獲れなくなった。大中島付近の諸富橋では昔は砂ガキが採れた。
- ☆ 昔より塩気が多くなった。大堰の関係かどうかはわからないが。
- ☆ ダムと大堰ができて、砂が上流から下流域に流れてこなくなった。
- ☆ 停滞している水がある。水が循環するような工夫が必要。

【管理について】

- ☆ 自主的に草刈をすると、ゴミを捨てる人が少なくなる。しかし、機械のオイル代やメンテナンス費用がかかってしまう。刈った後の草の適正な処理をしてほしい。
- ☆ 荒籠の浮桟橋の入口から子供が入ったりして危ない。またゴミ等も溜まっている。管理しているのは役場であるので話はしているが、なかなか改善されない。
- ☆ 河川敷にヨシ原があるのはいいが、民家の近くにあるのは危険だ。
- ☆ 千人塚に通じる水路があるのだが、水門の操作で排水されてきれいになっているので、回数を増やしてほしい。
- ☆ 樋管をうまく操作して、水路をきれいに保ってほしい。

【利水について】

- ☆ 大堰があるために、飲み水には困っていないので助かっている。

【その他】

- ☆ 昔はザル市と言う一大イベントがあり、辺りは大変賑やかだった。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 127

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月20日(水)に中央公民館(みやき町北茂安地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、7名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	みやき町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	7名
県	2名
市町村	1名
水機構	2名
住民	7名

主な意見

【治水について】

☆M22年の水害より、S28年の水害の方が大きかった。
☆S28年以降は治水事業が進み、S58年の大雨のとき、大きな水害に遭わずに済んだ。

【利用について】

☆治水面は非常によくなったが、子供がエビや魚を釣ったり、野原で草野球をするようなことができなくなった。
河川が憩いの場になるように、自然を壊さずに整備していただきたい。今は危険で近づけない、汚い。
☆干満の差は激しいが、ホバークラフトだったら走れる。それをうまく使って、有明佐賀空港と大都市をつなげば、流域経済圏の発達に大きな効果があるのではないかな。
☆昔はいかだや帆船が交通機関だった。

【環境について】

☆子供のとき、砂浜が多かった。泳いで行くと足が届いていた。今はヘドロになっている。昔は川に藻が生えていて、5～6月にコイやフナが産卵していた。水がきれいだった。
☆魚の産卵する場所がない。シジミもいなくなった。昔はボラもいた。
☆ここ10年は川の水が若干きれいになった。
☆川の浚渫はほとんどやっていない。手を加えないので生き物が生きるはずがない。
☆今はヨシを刈ってしまうが、ヨシは水を浄化する。ヨシが減ったのが気になる。生えるための栄養分がない。
☆有明海の潮はここまで上がってこなくなった。
☆治水は大体できた。これからは環境を破壊しないように自然石を入れるなど、自然を取り入れてほしい。
☆外来種はものすごく繁殖力がある。

【管理について】

☆大堰の下はヨシとヤナギがものすごく茂っている。そこに粗大ごみを捨てる人がある。ヨシを刈ってもらえないかな。

【利水について】

☆河川の水は、どこでも平等に使えるようにしないといけない。
☆S53年の一番水がなかった頃と比較すると、今の水道使用量はかなり減っている。
☆今はクリークの水と筑後川の水のやりとりはほとんどない。循環させる工夫が必要ではないかな。

【その他】

☆川そのものの機能がなくなったのではないかな。はっきり言って、放水路という感じである。
☆河川管理者と住民は共通理解をする努力をお互いにしなければいけない。
☆昔は水利権があったので勝手にはできなかったが、みんなの川だということで愛着があって、きれいにしていた。
今はつつい行政に対する要望中心になってしまう。そればかりに頼っていては河川をよくはできない。
ボランティアを呼びかけて行動を起こすことが一番大事だと思う。その出発点がこういう説明会である。
☆筑後川は我々の生活の原点である。行政と一緒に行動を起こしていきたい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 128

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月26日(火)に栃原公民館(日田市中津江村)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、8名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市中津江村

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	9名
県	2名
市町村	4名
水機構	1名
住民	8名

主な意見

【利用について】

- ☆栃原グラウンドを散歩やジョギングコースとして使用しているが、日陰があった方が利用者等が増えると思う。ベンチや樹木等を設置してほしい。
- ☆湛水敷地内に川に入って遊べる場所を造ってほしい。
- ☆貯水池内を散策できるような遊歩道を造ってほしい。
- ☆野田地区には川がないので祝川を利用して、子供達が川遊びが出来るような滝や川を作ってほしい。子供達に川に触れる機会を与えてほしい。
- ☆川畑橋の下の泉源を地元に還元してほしい。

【環境について】

- ☆昔の川はきれいだったが、今は汚くなってしまった。
- ☆河川整備は、天然石を使用したもので施工してもらいたい。
- ☆自然の淵を残してほしい。
- ☆ホテルが乱舞するような川にしてほしい。
- ☆ダムができる前後の魚の生態系の違いを調査してほしい。また、それを教える場を作してほしい。
- ☆漁協の立場からすれば、川をなるべく自然な状態に戻してもらいたい。

【管理について】

- ☆県道から、ダム湖等の景色が見えるように、乱立している樹木の伐採をしてほしい。
- ☆樹林帯で買った土地の維持管理、草刈りなどの仕事があるなら、地元の人達に仕事を与えることはできないか？

【その他】

- ☆なぜ、地元の要望を後回しにて砂防ダム等をつくるのか。地元の要望を優先するべきではないのか。
- ☆地元としては要らない所に金を使っている。地元が要望する箇所に金を使ってほしい。
- ☆ダム付近で地盤沈下で困っている所がある。
- ☆地盤沈下等に予算を使ってほしい。
- ☆ダムサイトから下流ばかりで上流の方のことを全く考えていない。治水だけでなく、環境、利水の面でも上流をもっと幅広く見てほしい。

流域1万人だより VOL. 129

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月28日(木)に川原生活改善センター(日田市上津江町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、5名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市上津江町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	10名
県	2名
市町村	2名
水機構	1名
住民	5名

主な意見

【治水について】

☆出水期には上野田付近まで浸水する場合がある。
 ☆昔に比べ、下流の河床が上がってきている。逆に、この付近の河床は下がっている。
 ☆S28災時の日田の町は見る影もなかった。
 ☆今年の7月の出水はすごかった。この洪水に流木があればつり橋はやられていただろう。

【利用について】

☆昔は川で泳ぎ遊んでいたが、今はプールで遊ぶ時でさえも四方を監視員が見張っている。川も人間も状況が変わり、川で泳ぐなんて今はなくなってしまった。
 ☆上流域の地元の子供でもプールでしか泳いでいない。逆に泳ぐのは観光客ぐらいである。
 ☆川の泥がドロドロで、川の中を歩けない状態になっている。

【環境について】

☆昔は川にコヒナ(川フナ)がたくさんいたが、今はいない。ホタルの量も少なくなった。水質の悪化が原因ではないか。
 ☆川の水質が悪くなったのは、洗剤などの影響もある。
 ☆杖立川などは雨が降れば水が黒くなる。
 ☆樹林帯整備で木を植える時は、四季にあった木を植えてもらいたい。
 ☆護岸及び遊歩道は幅が狭い箇所や広い箇所があり、水が淀んで堆砂してしまう。

【管理について】

☆毎年台風が来るたびに風倒木の被害が増える。道路もないので搬出もできない。
 ☆H3年の台風は雨も風も強く、木がたくさんなぎ倒されていた。風倒木により山の法面ははげ地になっていた。
 ☆広川橋右岸付近でスギを切り、サクラ、カンを植えた。しかし、カシの実にイノシシが寄りついて他の農作物にも被害が出た。
 ☆今の山にはスギばかりだが、昔は広葉樹がたくさんあった。スギなどを植えるのではなく、保水力のあるブナ等の広葉樹を植えるべきである。

【利水について】

☆昔に比べ、川の水の量が減った。昔は多かった。
 ☆昔は小川でもいつも水が流れていたような気がするが、今は水が流れなくなっているような気がする。

【その他】

☆ダムに関しては、上津江は上流であり、あまり関わりがない。
 ☆対岸の山が崩れており、補修の要望を出しているが何もしてくれない。
 ☆川に関する疑問・質問をしようにも、役場、国、県等をたらい廻しにされ、話もできない。

懇談会の写真



流域1万人だより VOL. 130

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月28日(木)に七ツ家公民館(柳川市昭代第1地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、14名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	柳川市
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	6名
県	1名
市町村	2名
水機構	2名
住民	14名

主な意見

【治水について】

- ☆荒籠あたりが一番危ない。堤防に波が当たる。
- ☆50年か100年先には水位そのものが若干上がるということだが。その分堤防を高くしないと困る。
- ☆堤防が驚くほど緩い。堤防の補強に反対する人はいない。
- ☆既往最大の雨量(今まで経験のない洪水)が発生した場合の対応はどう考えているのか？
- ☆S38 諫早大水害が筑後であっていたら大変なことになった。大雨が降ったら困るので、平均雨量より最大雨量で計画を立てるべきではないか。
- ☆洪水(最大雨量)の時、下流が一番迷惑を被る。下流域のことを考えて治水対策をやしてほしい。
- ☆堤防の強度は上がっているが、台風と満潮が重なった時の対策をさらに強化してほしい。

【利用について】

- ☆30年先には観光客が歩けるような堤防にしてほしい。
- ☆0k付近は砂浜で海水浴をしていた。ガタでなく砂だった。
- ☆筑後川 1.0～3.0k付近は砂があり、昔泳いでいた。

【環境について】

- ☆昔、ヨシがあるときはよかった。100mぐらいヨシが植わっていた。満潮時に漁船の速いのが行くから全部洗ってしまいくなくなってしまった。
- ☆今、城島地区はヨシの被害がある。この辺はヨシと砂がなくなった。
- ☆筑後大堰ができた後は砂が流れてこない。筑後大堰の上流側にたまっているのだろう。
- ☆砂が流れるようにしてほしい。
- ☆昔はシジミ貝がいたが、今はいないだろう。
- ☆整備が良すぎて、魚のいる場所がなくなった。ヨシも草もない。草も刈れと言われる。
- ☆チョウセンモ(ホテイアオイ)の下は水が真っ青。水害があるから草を取れと言うが、環境にもものすごく悪い。
- ☆昔はヨシが生い茂っていたので、渡り鳥のオオヨシキリがうるさいほどいた。卵をとりに行っていた。
- ☆カモも年々少なくなってきた。
- ☆コンクリート張りになっているので生物が生きられない。環境にいいように水が少し動くようにしてほしい。

【利水について】

- ☆今年、農業用水は足りなかったが、何とかあった。減反分があったからだろう。

【その他】

- ☆波が少しあると上まで来る。台風で波が吹きつけられると塩害が相当ある。
- ☆筑後大堰を建設したことのメリット・デメリット等、当時詳細に説明してほしいかった。
- ☆住民の意見を聞くというが、責任転嫁ではないのか？

懇談会の写真

